

# 2019年度（平成31年度）水道事業，工業用水道事業 及び下水道事業の予算の概要

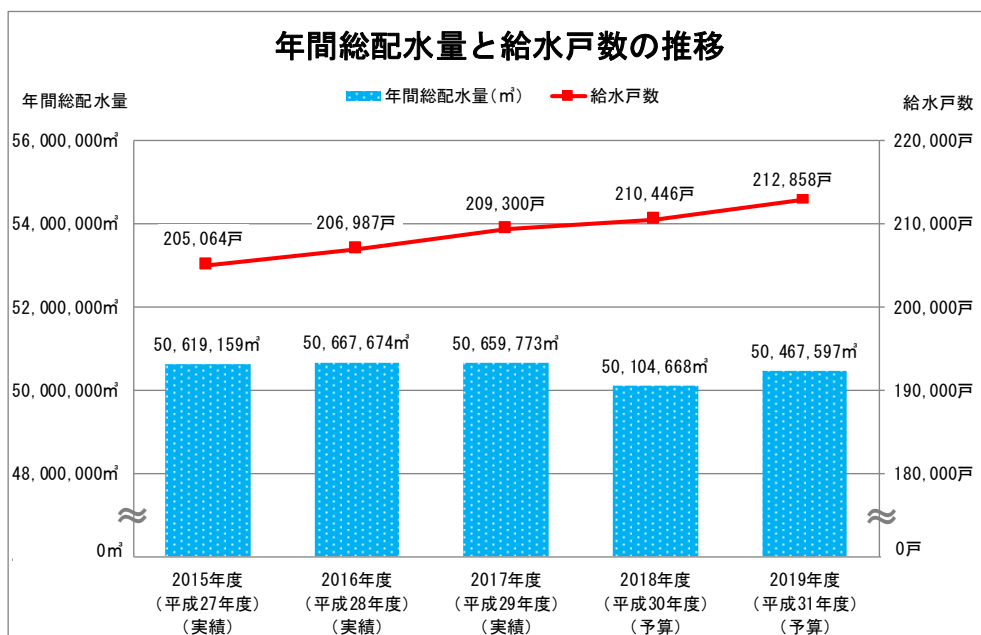
2019年度（平成31年度）予算の概要をお知らせします。

## 水道事業

### 1 業務予定量

水道事業の業務予定量は次のとおりです。

項目	2019年度 (平成31年度)	2018年度 (平成30年度)	前年度に対する増減
給水戸数	212,858戸	210,446戸	2,412戸
年間総配水量	50,467,597 立方メートル／年	50,104,668 立方メートル／年	362,929 立方メートル／年
一日平均配水量	137,890 立方メートル／日	137,273 立方メートル／日	617 立方メートル／日
主要な建設改良事業	41億2,400万円	41億8,057万円	△5,657万円



## 2 建設改良事業の概要

安全で良質な水道水の安定した供給体制の確立や災害に強い水道施設整備のため、2019年度（平成31年度）に実施する主な建設改良事業は次のとおりです。

### ○第六期拡張事業【1億8,000万円】

- ・明王台配水池から熊野浄水場までの配水管布設工事  
2017年度（平成29年度）から2020年度（平成32年度） 「4か年計画」

### ○配水管整備事業【24億8,500万円】

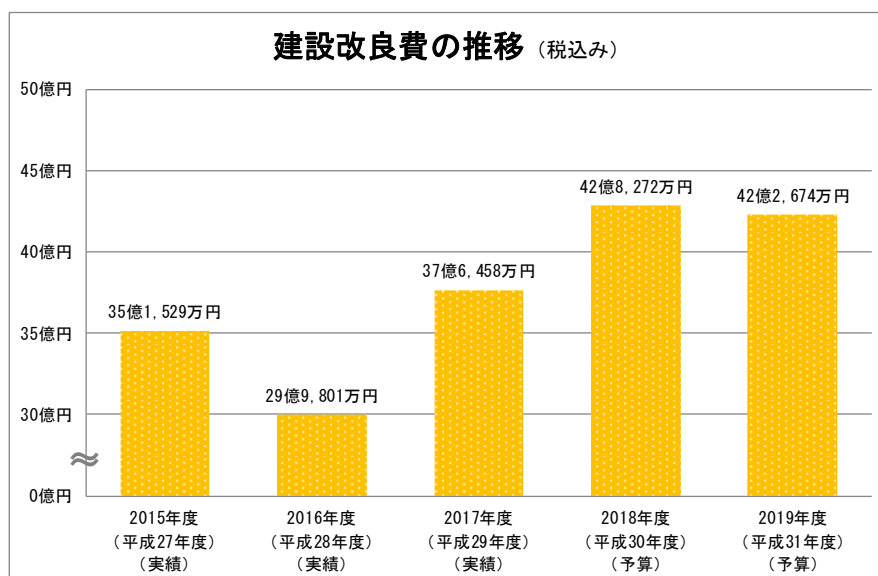
「第八次配水管整備事業計画」

2017年度（平成29年度）から2021年度（平成33年度） 「5か年計画」

- ・配水管布設替
  - 基幹管路整備工事 延長 = 4,048m
  - 重要管路整備工事 延長 = 5,898m
  - 一般管路整備工事 延長 = 16,807m

### ○配水管及び施設改良事業【14億5,900万円】

- ・中津原浄水場監視制御設備工事
- ・中津原浄水場フロキュレータ取替工事
- ・中津原浄水場洪水対策基本計画等策定業務ほか



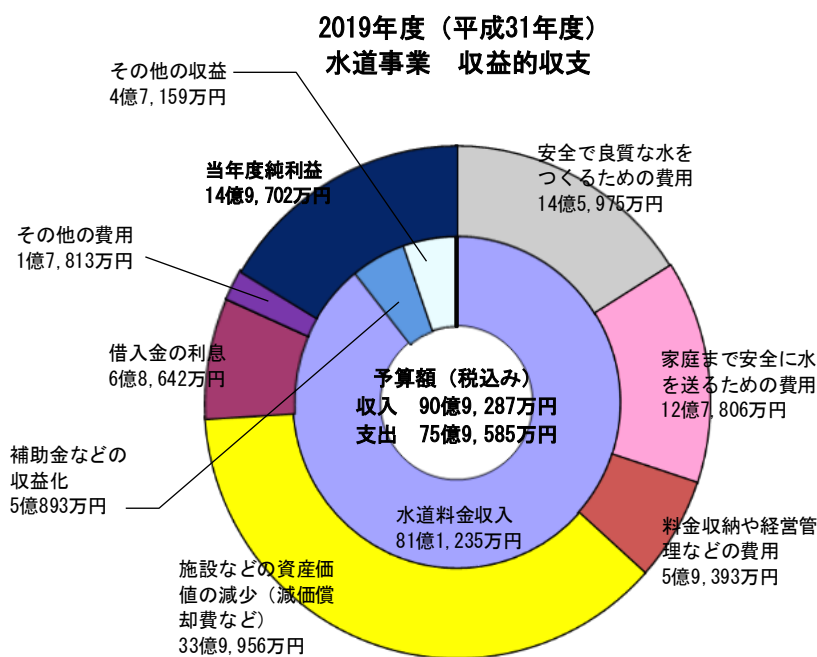
### 3 財政状況等

#### (1) 収益的収支（水道料金の収納や水道水の供給などに伴い発生する収入と支出）

収益的収入は、前年度に比べて1億6,975万円（1.9%）増加し、90億9,287万円です。一方、収益的支出は、前年度に比べて3,468万円（0.5%）減少し、75億9,585万円です。

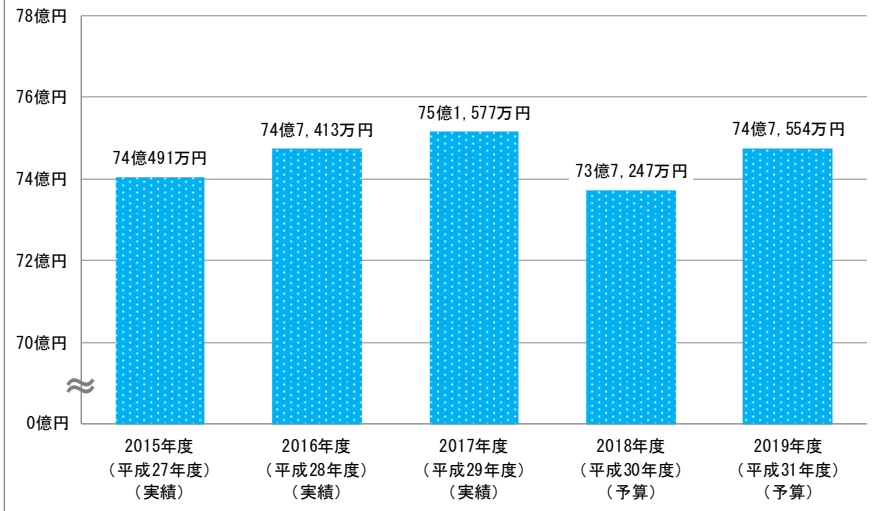
この結果、収益的収入と収益的支出の差し引きは、14億9,702万円の純利益となる見込みです。

項目	2019年度 (平成31年度)	2018年度 (平成30年度)	前年度に対する増減
収益的収入 (うち、水道料金収入)	90億9,287万円 (81億1,235万円)	89億2,312万円 (79億6,226万円)	1億6,975万円 (1億5,009万円)
収益的支出	75億9,585万円	76億3,053万円	△3,468万円
差引	14億9,702万円	12億9,259万円	2億443万円



※円グラフの内側が収益的収入、外側が収益的支出です。

### 水道料金収入の推移 (税抜き)



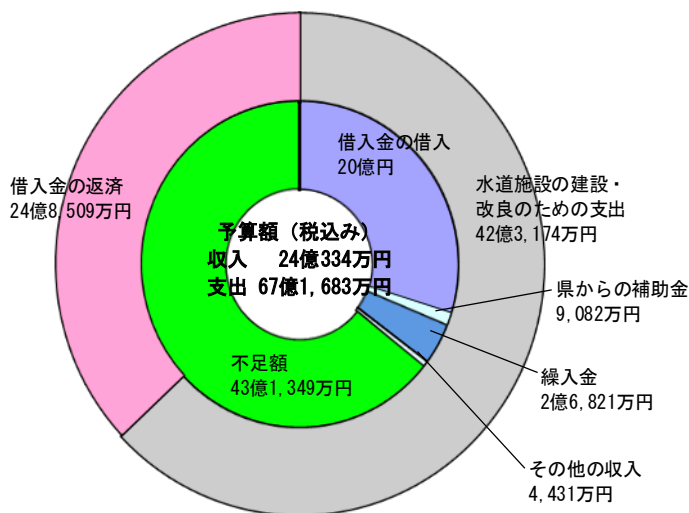
(2) 資本的収支（水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出）

資本的収入は、前年度に比べて3,321万円（1.4%）減少し、24億334万円です。一方、資本的支出は、前年度に比べて8,772万円（1.3%）減少し、67億1,683万円です。

この結果、資本的収入が資本的支出に不足する額は、43億1,349万円となる見込みです。なお、不足額は、減価償却費など企業の内部に留保される資金等で補てんします。

項目	2019年度 (平成31年度)	2018年度 (平成30年度)	前年度に対する増減
資本的収入	24億334万円	24億3,655万円	△3,321万円
資本的支出	67億1,683万円	68億455万円	△8,772万円
差引	△43億1,349万円	△43億6,800万円	5,451万円

2019年度（平成31年度）  
水道事業 資本的収支



※不足額は、減価償却費など企業の内部に留保される資金等で補てんします。

### (3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べ4億8,509万円(1.3%)減少し、373億6,182万円となる見込みです。

